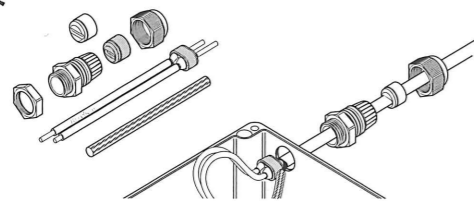


## 水配管凍結防止用 H312/H322/H612/H622

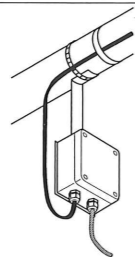
### ヒーティングケーブル付属部材およびアクセサリ

#### 電源接続キット C25-100



電源接続キット …………… 1個

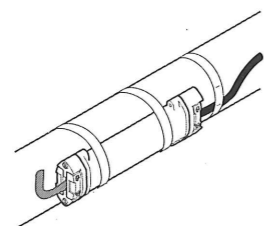
#### 電源接続箱 JB-82



C25-100 と組み合わせて  
使用する接続箱 …………… 1個

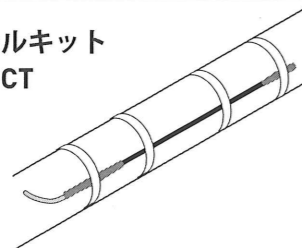
※電源接続の他にヒータ同士の直線接続、  
T型接続、4方向接続に使用できます

#### 電源接続キット C-150-E



電源接続キット …………… 1個

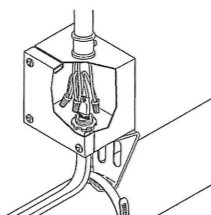
#### 電源接続/エンドシールキット CCE-03-CR/CCE-04-CT



電源接続および  
エンドシール ……………各1個

※熱収縮処理が必要です  
※接続部が屋外露出する場合、CCE-04-CT を使用してください

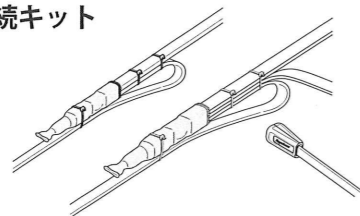
#### 電源接続/エンドシールキット H900-J



電源接続キット …………… 1個  
※熱収縮処理が必要です  
※パイプストラップが1個必要です  
※電源接続箱が必要です

エンドシール (ジェル封入式) …… 1個

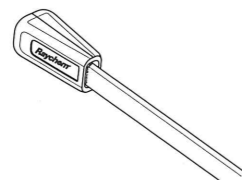
#### 直線接続& T型接続キット H910-J



ヒータ同士の直線接続  
またはT型接続キット …………… 1個  
※熱収縮処理が必要です

エンドシール (ジェル封入式) …… 1個

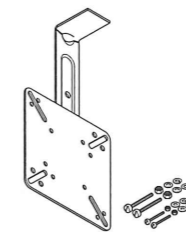
#### エンドシールキット H912-J



エンドシール (ジェル封入式)  
…………… 2個入り

## 水配管凍結防止用 H312/H322/H612/H622

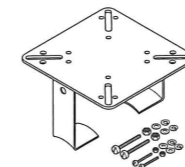
#### ブラケット SB-110



JB-82 を配管に取り付ける  
ためのブラケット …………… 1個

※パイプストラップが1個必要です

#### ブラケット SB-111



JB-82 を配管に取り付ける  
ためのブラケット …………… 1個

※パイプストラップが2個必要です

#### グラステープ GT-66 GS-54



GT-66 20m ……………1巻  
GS-54 16.5m……………1巻

\*GT-66 はステンレス配管及び5℃以下の施工には  
適しませんので、GS-54 を使用してください

#### アルミテープ AT-180



アルミテープ55m …………… 1巻

\*プラスチック配管への敷設に使用します

#### 表示ラベル LAB-ETL-J



“ヒートトレース” 表示ラベル …… 1枚

#### パイプストラップ PSE-047 PSE-090 PSE-280 PSE-540

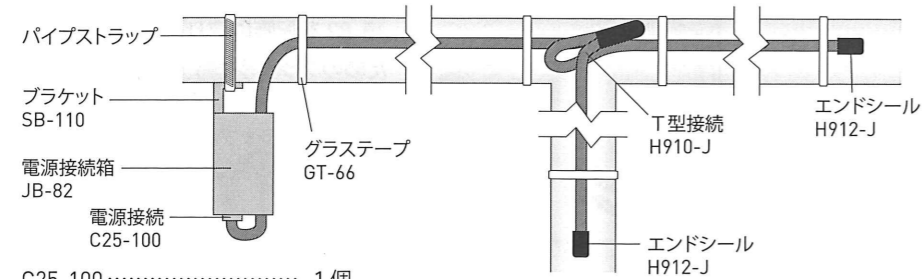


パイプストラップ 型番	適用配管 配管外径(mm)
PSE-047	20 - 47
PSE-090	40 - 90
PSE-280	60 - 288
PSE-540	60 - 540

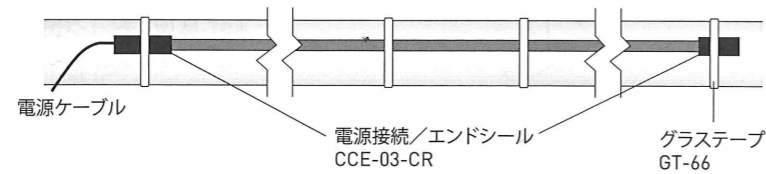
(注) エヌヴェントは電源接続、直線接続、エンドシールなどの全ての部材とアクセサリを提供しています。  
製品が正しく機能するために、これらの部材とアクセサリを必ず使用してください。

# 水配管凍結防止用 H312/H322/H612/H622

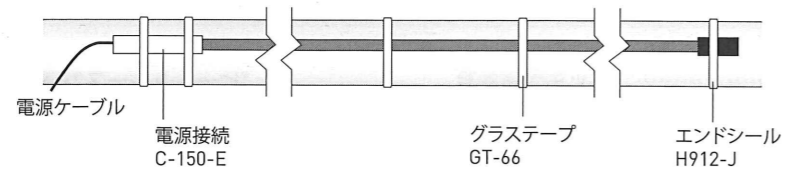
## ヒータ回路構成部材例



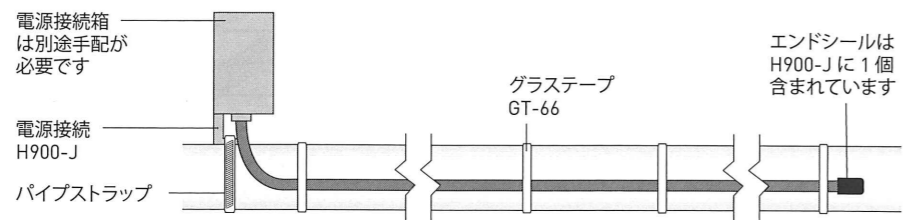
- C25-100 ..... 1個
- JB-82 ..... 1個
- SB-110 または SB-111 ..... 1個
- H910-J ..... 1個 (熱収縮処理が必要です)
- H912-J ..... 2個
- LAB-ETL-J ..... 必要個数
- GT-66 ..... 必要個数
- AT-180 ..... 必要個数 (プラスチック配管の時に使用します)
- パイプストラップ ..... 必要個数 (SB-110の場合パイプストラップ1本、SB-111の場合パイプストラップを2本手配してください)



- CCE-03-CR ..... 1個 (熱収縮処理が必要です)
- LAB-ETL-J ..... 必要個数
- GT-66 ..... 必要個数
- AT-180 ..... 必要個数 (プラスチック配管の時に使用します)



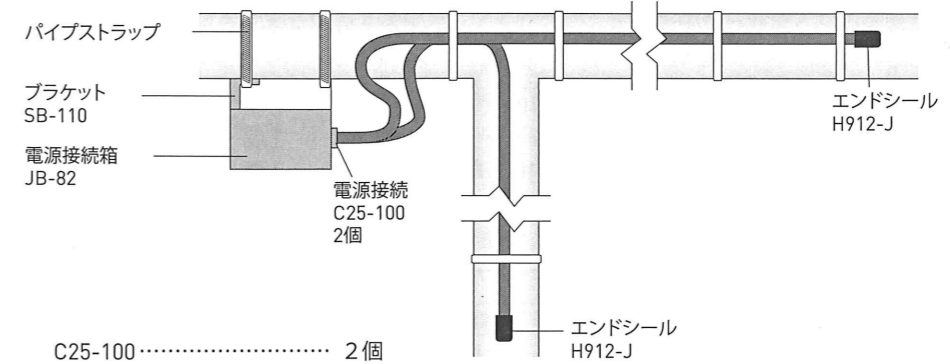
- C-150-E ..... 1個
- H912-J ..... 1個
- LAB-ETL-J ..... 必要個数
- GT-66 ..... 必要個数
- AT-180 ..... 必要個数 (プラスチック配管の時に使用します)



- H900-J ..... 1個 (電源接続箱を別途手配してください)
- LAB-ETL-J ..... 必要個数
- GT-66 ..... 必要個数
- AT-180 ..... 必要個数 (プラスチック配管の時に使用します)
- パイプストラップ ..... 1個

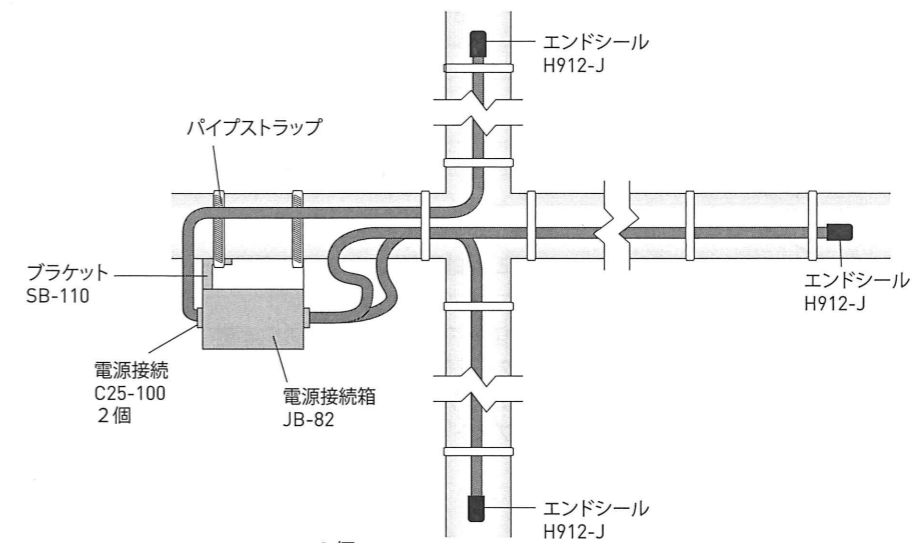
# 水配管凍結防止用 H312/H322/H612/H622

## ヒータ回路構成部材例 (電源接続部分で2ヒータ接続)



- C25-100 ..... 2個
- JB-82 ..... 1個
- SB-110 または SB-111 ..... 1個
- H912-J ..... 2個
- LAB-ETL-J ..... 必要個数
- GT-66 ..... 必要個数
- AT-180 ..... 必要個数 (プラスチック配管の時に使用します)
- パイプストラップ ..... 必要個数 (SB-110の場合パイプストラップ1本、SB-111の場合パイプストラップを2本手配してください)

## ヒータ回路構成部材例 (電源接続部分で3ヒータ接続)

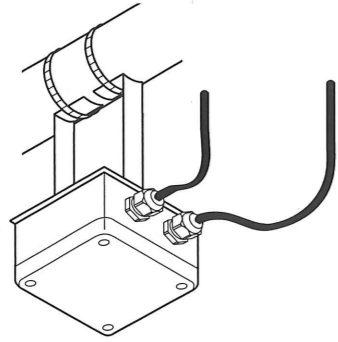


- C25-100 ..... 3個
- JB-82 ..... 1個
- SB-110 または SB-111 ..... 1個
- H912-J ..... 3個
- LAB-ETL-J ..... 必要個数
- GT-66 ..... 必要個数
- AT-180 ..... 必要個数 (プラスチック配管の時に使用します)
- パイプストラップ ..... 必要個数 (SB-110の場合パイプストラップ1本、SB-111の場合パイプストラップを2本手配してください)

## 水配管凍結防止用 H312/H322/H612/H622

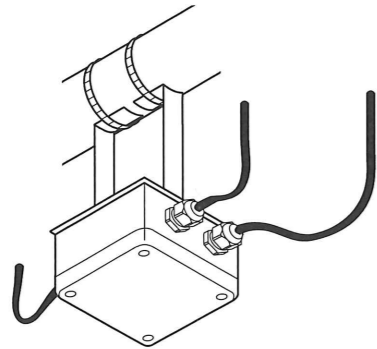
### 電源接続箱JB-82と電源接続キットC25-100を組み合わせたヒータ分岐接続例

#### ヒータ直線接続



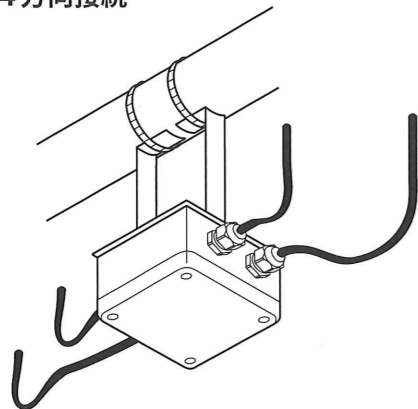
- C25-100 ..... 2個  
 JB-82 ..... 1個  
 SB-110 または SB-111 ..... 1個  
 パイプストラップ ..... 必要個数  
 (SB-110 の場合パイプストラップ1本、  
 SB-111 の場合パイプストラップを2本  
 手配してください)

#### ヒータT型接続



- C25-100 ..... 3個  
 JB-82 ..... 1個  
 SB-110 または SB-111 ..... 1個  
 パイプストラップ ..... 必要個数  
 (SB-110 の場合パイプストラップ1本、  
 SB-111 の場合パイプストラップを2本  
 手配してください)

#### ヒータ4方向接続



- C25-100 ..... 4個  
 JB-82 ..... 1個  
 SB-110 または SB-111 ..... 1個  
 パイプストラップ ..... 必要個数  
 (SB-110 の場合パイプストラップ1本、  
 SB-111 の場合パイプストラップを2本  
 手配してください)

## 水配管凍結防止用 H312/H322/H612/H622

### 配管へのヒーティングケーブル巻き比率 (例)

必要なヒータ長を決めるために下記の表を参考としてください。保温処理された金属配管の場合は表1または表3を、保温処理されたプラスチック配管の場合は表2または表4を使用してください。まず表中から対象となる配管サイズを見つけ、最低外気温度を見つけ、その交点のセルを見つけだします。この交点セルにある数字が巻き比率 (配管1m当りに巻き付けるヒーティングケーブル長 (m) を表します) を示しています。巻き比率が2の場合は、2本のヒーティングケーブルを4時と8時の位置に直線状に施工してください (12時が配管の真上になります)。

#### H312/H322

表1 金属配管にグラスウール保温筒(20mm)、保持温度は5°C

最低外気温度	配管径(mm)						
	20	25	32	40	50	65	80
-10°C	1	1	1	1	1	1	1
-20°C	1	1	1	1	1.2	1.4	1.6

表2 PVC-VP 配管にグラスウール保温筒(20mm)、保持温度は5°C

最低外気温度	配管径(mm)						
	20	25	30	40	50	65	75
-10°C	1	1	1	1	1	1	1.3
-20°C	1	1	1	1.2	1.4	1.5	2

(注) AT-180 を使用してヒーティングケーブルを施工

#### H612/H622

表3 金属配管にグラスウール保温筒(25mm)、保持温度は5°C

最低外気温度	配管径(mm)							
	20	25	32	40	50	65	80	100
-10°C	1	1	1	1	1	1	1	1
-20°C	1	1	1	1	1	1	1	1
-30°C	1	1	1	1	1	1	1.1	1.3

表4 PVC-VP 配管にグラスウール保温筒(25mm)、保持温度は5°C

最低外気温度	配管径(mm)							
	20	25	30	40	50	65	80	100
-10°C	1	1	1	1	1	1	1	1.1
-20°C	1	1	1	1	1.1	1.2	1.4	1.7
-30°C	1	1	1.1	1.3	1.5	1.7	2.0	2.4

(注) AT-180 を使用してヒーティングケーブルを施工

### ヒーティングケーブルの試験方法

絶縁抵抗試験は施工要領に従ってシステムが正しく施工されたときにシステムの電気的な健全性を確認するためのものです。少なくとも下記の時期において、絶縁抵抗試験の実施を行うように推奨しています。

- 現場にてヒーティングケーブルを受け入れた際
- ヒーティングケーブルを施工する前
- ヒーティングケーブルを施工した後
- 保温材を施工する前
- 保温材を施工した後
- 試運転を実施する前
- 定期点検作業の時
- 保守修理作業の後